

第 266 回幹事会議事要旨

日 時 平成 30 年 7 月 26 日 (木) 13:30~16:05

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会 長) 山極 壽一

(副会長) 三成 美保、渡辺 美代子、武内 和彦

(第一部) 佐藤 岩夫、藤原 聖子、橋本 伸也、町村 敬志

(第二部) 石川 冬木、平井 みどり、武田 洋幸、丹下 健

(第三部) 大野 英男、徳田 英幸、米田 雅子

(事務局次長) 松林 博己

(課長等) 小林 真一郎、酒井 千冬、西澤 立志、糸川 泰一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 「日本学術会議協力学術研究団体規程」の一部を改正することを決定した。
 - (2) 分野別委員会における運営要綱の一部改正(新規設置 1 件)及び委員会等委員(【委員会及び分科会】追加 7 件【小委員会】新規 3 件)を決定した。
 - (3) 第二部合同分科会の設置(1 件)を決定した。
 - ・第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会
 - (4) 課題別委員会並びに分科会の設置(委員会の設置 1 件、分科会の設置 1 件)及び委員会等委員(【委員会及び分科会】新規 3 件)を決定した。
 - 委員会並びに分科会の設置及び委員会並びに分科会委員の決定
 - ・国際リニアコライダー計画の見直し案に関する検討委員会
 - ・国際リニアコライダー計画の見直し案に関する検討委員会技術検証分科会
 - 委員会委員の決定
 - ・人口縮小社会における問題解決のための検討委員会
 - (5) 提言「生きる力の更なる充実を目指した家庭科教育への提案—家庭科教員の立場から—」について、健康・生活科学委員会家政学分科会小川宣子委員長、片山倫子委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い再度の幹事会審議を要することとした。
 - (6) 日本学術会議協力学術研究団体を指定することを承認した。
 - (7) 平成 30 年度代表派遣について、会議の追加及び派遣者を決定した。
 - (8) 平成 30 年度フューチャー・アースに関する国際会議への派遣方針に基づいて、派遣会議及び会議派遣者を決定した。
 - (9) 「フューチャー・アース関連会合」への外国人の招聘について決定した。
 - (10) 12 件のシンポジウム等の開催、7 件の国内会議の後援を決定した。
- 3 その他事項として、第 23 期放射線防護・リスクマネジメント分科会報告「子どもの放射線被ばくの影響と今後の課題—現在の科学的知見を福島で生かすために—」に対する質問状等について回答案の検討が行われ、修正を施すこととなった。また、提言「地質地盤情報の共有化に向けて—安全・安心な社会構築のための地質地盤情報に関する法整備—」のフォローアップについて第 23 期土木工学・建築学委員会

インフラ健全化システム分科会依田照彦委員長より報告が行われた。さらに、今般の西日本豪雨（平成30年7月豪雨）が緊急事態に準じる事態であることを確認した。加えて、今後の幹事会等の開催日程及び第177回総会（10/3～5）の日程案について確認が行われた。

4 以下の非公開審議が行われた。

- (1) 定年により退任する会員の連携会員への就任について決定した。
- (2) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）（追加3件）及び小委員会委員（新規3件、追加2件）を決定した。
- (3) 課題別委員会における委員会等委員（特任連携会員）（新規2件）及び小委員会委員（追加1件）を決定した。

第267回幹事会議事要旨

日 時 平成30年8月13日（月）

（会則第26条による幹事会における議決方法の特例により、メール審議を行った）

公開審議事項

1. シンポジウム等

提案1 公開シンポジウム「西日本豪雨災害の緊急報告会」の開催について

提案1について原案のとおり承認された。